



「七五三祈願祭」が行われる。

「七五三」は、お子様の成長と幸せを願い、神様にお祈りと感謝をするお祝いとして、日本に受け継がれてきた年中行事です。

その起源は古く、室町時代とされ、江戸時代に広く普及し、明治時代に現在の形になったと言われております。

「長沼八幡社」では、11月12日（日）に、恒例の「七五三祈願祭」が行われました。近隣の有名神社では、団体（複数家族）でのご祈禱となりますが、長沼八幡社では「鎮守の社」でもあり、複数のご参列ご家族でも、それぞれ個別（1家族ごと）に宮司からの懇ろな、ご祈禱を受けられ、記念写真が贈呈されます。

本年は（たまたま？）3歳の女兒1組の「祈願祭」になりましたが、好天にも恵まれて、ご両親やご家族の方々大勢のご参列を頂き、素晴らしい祈願祭と華やぎました。

10時に式典が始まり、本殿では石井宮司による「祝詞奏上やお祓い、玉串奉奠」等、一連の神事が厳かに執り行われました。

式後には、長沼八幡社から、心こもった「千歳飴」等がプレゼントされ、社殿を背景に「記念写真」撮影をして、神社役員一同から「お祝いと、お子様のお健やかなるご成長祈念」のご挨拶があり、めでたく今年度の「七五三祈願祭」がお開きとなりました。

